

2021年度まちづくりネットモニター第1回調査結果 テーマ「SDGs（エスディージーズ）の関心度について」



SDGsとは、深刻化する地球上の問題を、2030年までにより良くするために、国連で貧困、教育、気候変動など17のゴールと169のより具体的な目標(ターゲット)に集約した世界共通の目標です。郡山市は県内初の「SDGs未来都市」として、様々な分野の人・情報・研究成果などが行き交う「知の結節点」としての強みを生かし、こおりやま広域圏に住むすべての方が「自分ごと」として将来世代のために行動できるようSDGsの達成に取り組んでいます。

SDGsについて皆さんの認知度・関心度を把握するとともに、今後の取り組みの参考とするため、昨年度及び一昨年度に引き続きアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

【調査概要】

○調査期間	令和3年5月19日(水)～5月28日(金) 10日間
○回答方法	専用ウェブサイトから回答を返信
○モニター数	360名 (男性 164名 女性 196名)
○回答者数	344名 (男性 159名 女性 185名)
○回答率	95.6%



郡山市ウェブサイト
SDGs未来都市こおりやま

【分析】

《回答者内訳》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	
男性		4	6	14	28	36	15	45	11	159
女性		3	11	37	67	45	18	3	1	185
合計		7	17	51	95	81	33	48	12	344

《問1 SDGsの認知度》

63.4%が知っている、29.1%が聞いたことはある、7.6%が全く知らないと回答。

前回調査(2020年)と比較し、認知度(知っている)は25.5ポイント高くなっている。

※割合(%)は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

《問4 SDGsの関心度》

9.6%が非常に関心がある、53.5%が関心があると回答。

前回調査(2020年)と比較し、関心度(「非常に関心がある」「関心がある」の合計)は16.2ポイント高くなっている。

《問8 SDGsの達成に向け誰が主に行動すべきか》

34.3%が政府、33.1%が自治体、14.2%が企業、12.8%が個人と回答。

前回調査(2020年)と比較し、企業、個人の割合がそれぞれ6.7ポイント、3.2ポイント高くなっている。

【考察】

・SDGsの認知度は前回調査(2020年)と比べ大幅に上昇しており、周知・PRの効果が現れていると考えられる。また、前は年代別の認知度に偏りがあったが、今回は年代別の認知度に大きな差はなく、年代に関係なくSDGsが浸透してきている。

・問8の回答結果から、SDGsは国や自治体だけではなく、企業や個人ひとりひとりが主に取り組むべきと考える人が昨年より増えている。今後も、SDGsを「自分ごと」として考える人が増えるよう周知・働きかけを継続していく必要がある。

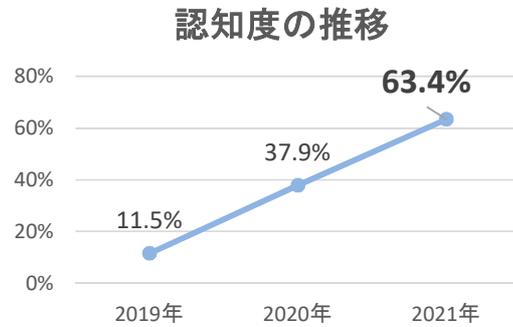
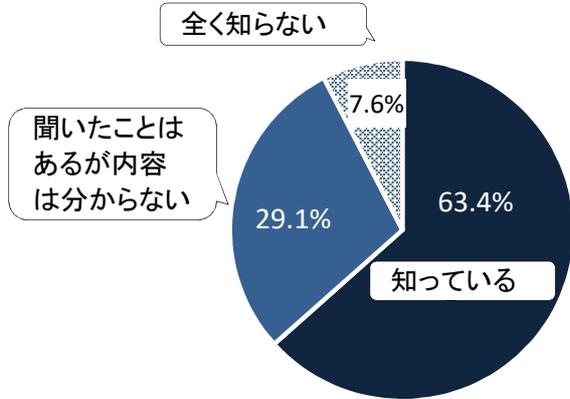
・SDGsを「身近に感じられない」との意見がみられたことから、SDGsを身近に感じられるよう、日常生活で実践可能なSDGsの達成に貢献する取り組みなどをPRする必要がある。

※割合(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

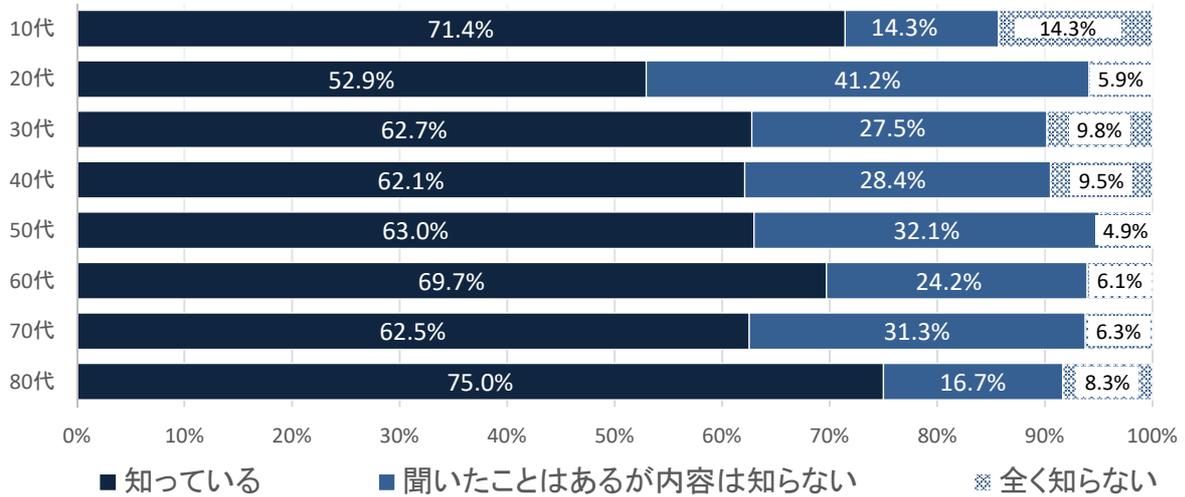
第1章 SDGsの認知度について

問1 SDGs (エスディージーズ) をご存知ですか？ (1つ選択)

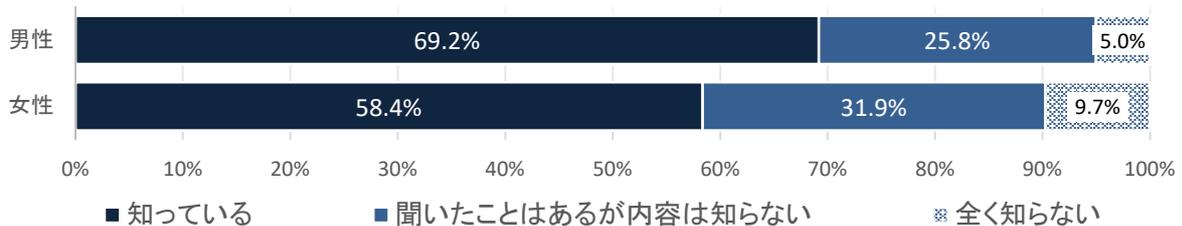
(回答者：344人)



年代別

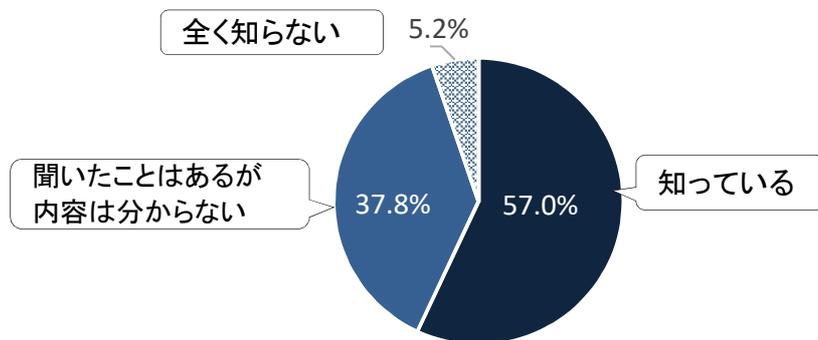


男女別

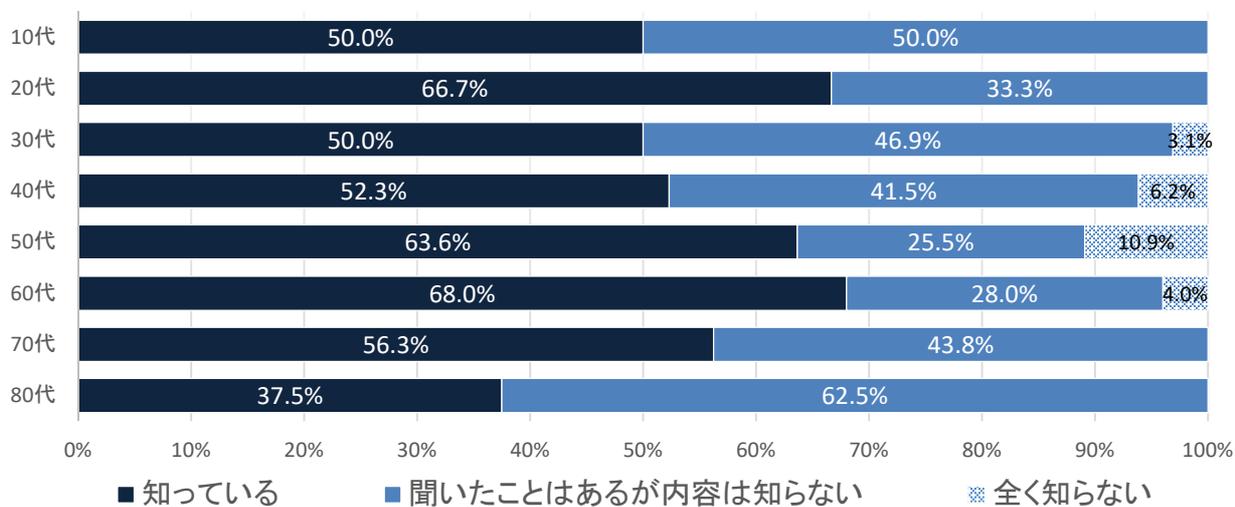


SDGsの認知度について、「知っている」と答えた割合は全体の63.4%であり、前回調査と比べると、認知度(知っている)は25.5ポイント上昇している。
 年代別では、10代の認知度が71.4%と最も高く、20代の認知度が52.9%で最も低い。
 男女別では、男性の認知度が女性より10.8ポイント高い。

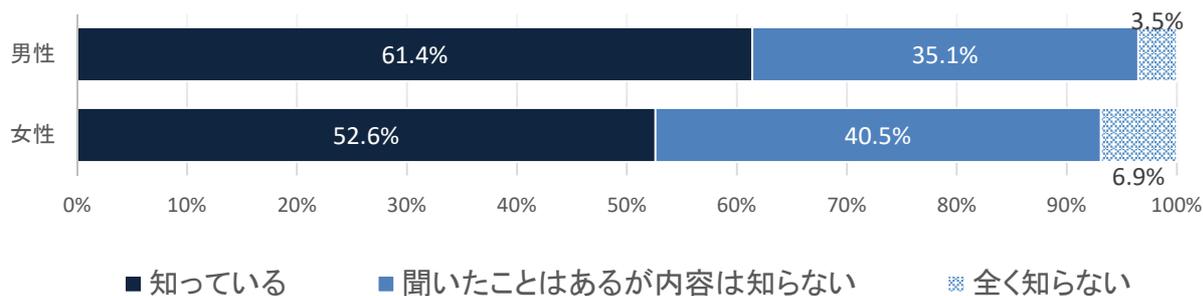
問2 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。
 2015年に国連で採択された国連のSDGsの取り組みをご存知ですか？
 (1つ選択) (回答者：230人)



年代別



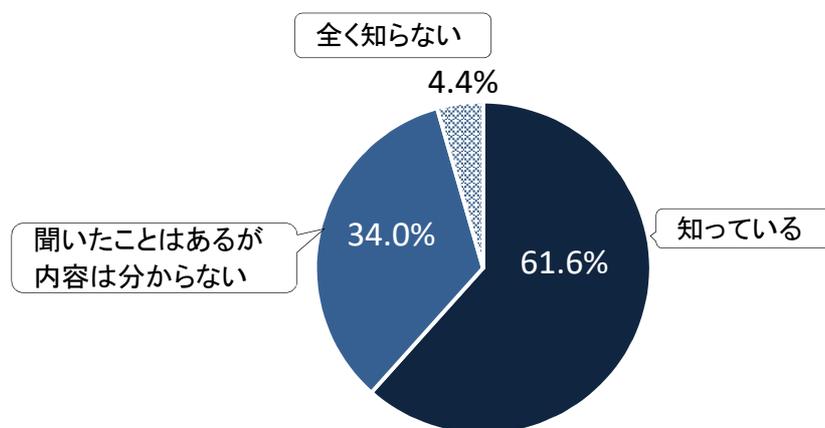
男女別



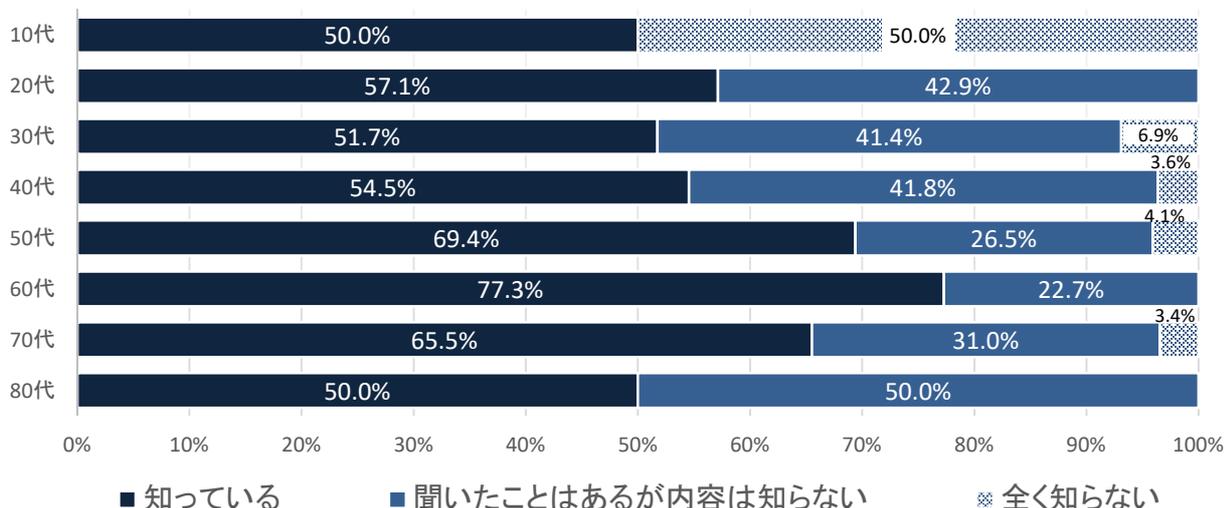
国連のSDGsの取り組みの認知度について、年代別では、60代と20代の認知度が高い。
 男女別では、男性の認知度が女性より8.8ポイント高い。

問3 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。
 国(SDGs推進本部)で進めているSDGsの取り組みをご存知ですか？
 (1つ選択)

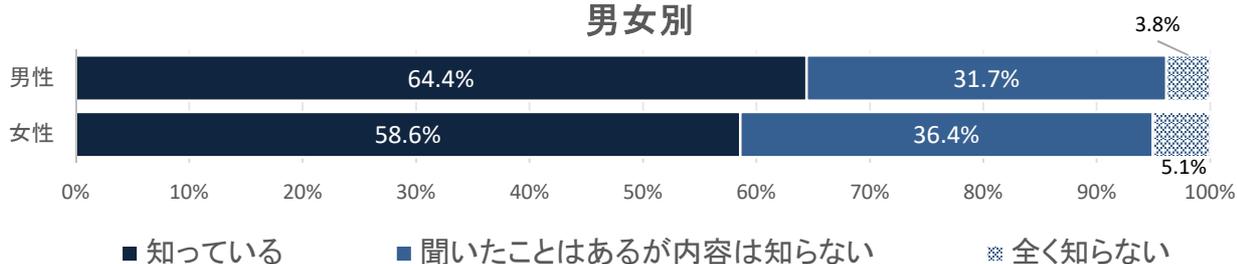
(回答者：203人)



年代別



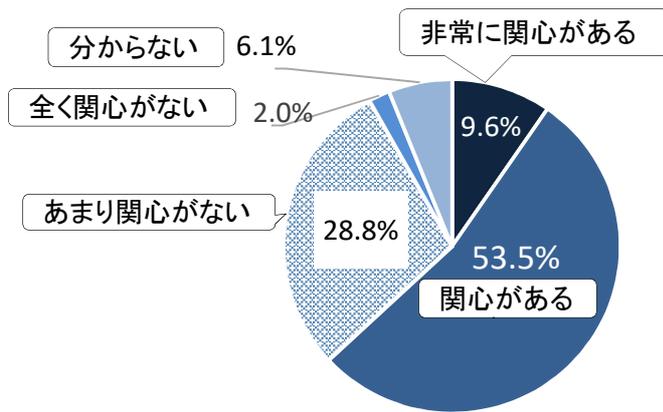
男女別



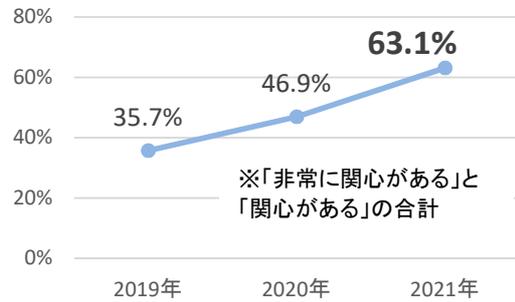
国のSDGsの取り組みの認知度について、年代別では「知っている」と答えた割合が、50代、60代で高い。
 男女別では、男性の認知度が女性より5.8ポイント高い。

問4 SDGsについてどの程度関心がありますか？（1つ選択）

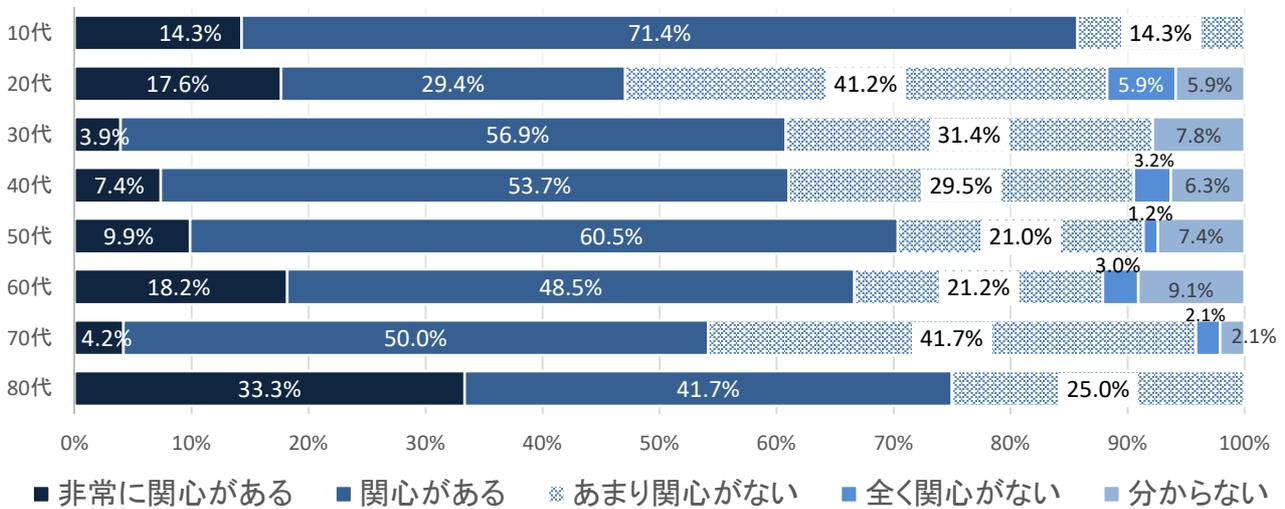
（回答者：344人）



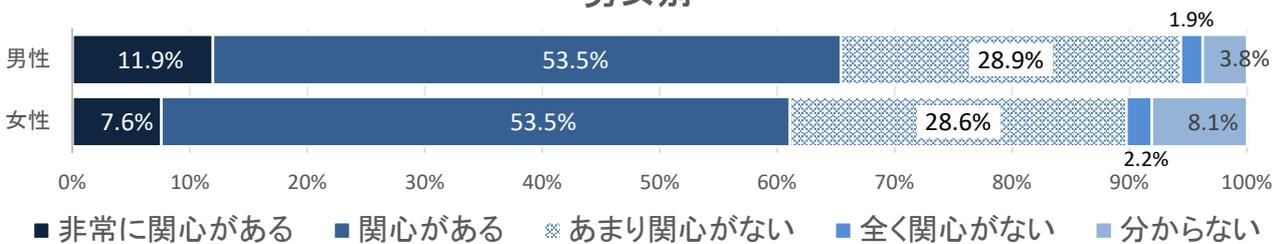
関心度※の推移



年代別



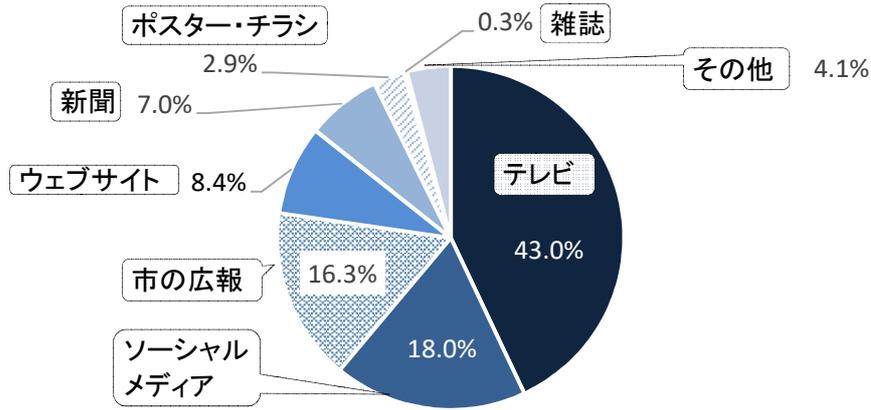
男女別



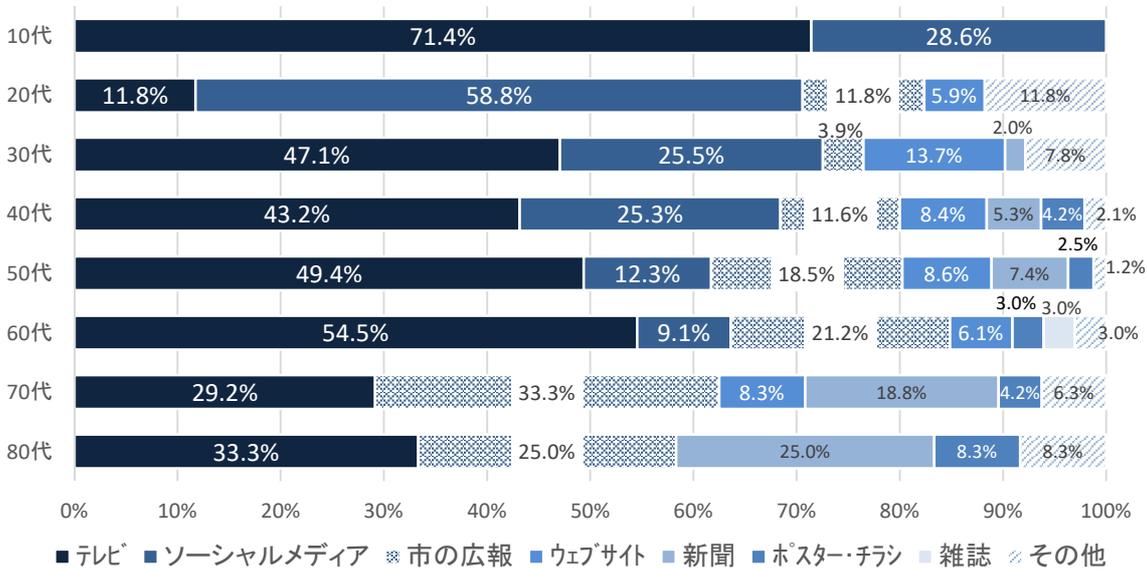
全体では、「非常に関心がある」と「関心がある」の割合は計63.1%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」の割合は計30.8%、「分からない」は6.1%となっている。
 前回調査と比べ、関心度(非常に関心がある、関心があるの合計)は16.2%高くなっている。
 年代別では、10代の関心度が高く、20代及び70代の関心度が低い。
 男女別では、男性の関心度が女性より4.3ポイント高い。

問5 SDGsを知らない方に対し、興味関心を持っていただくためには、どのような方法によるPRが最も効果的だと思いますか？

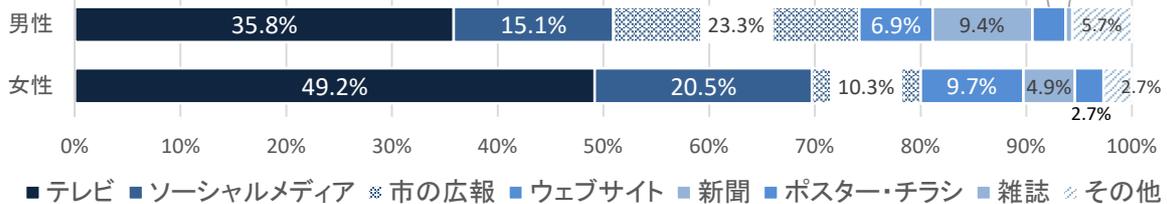
(回答者：344人)



年代別



男女別

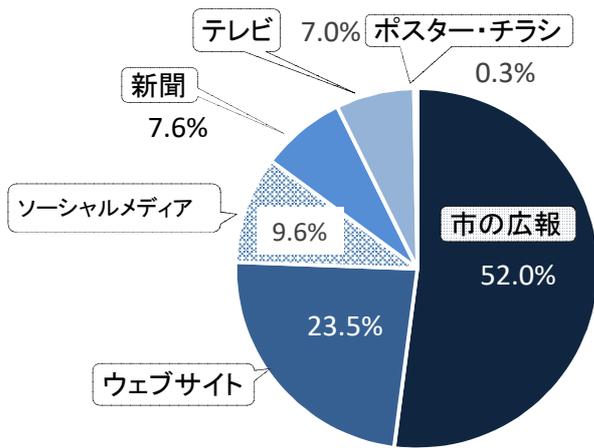


※「その他」を選択した方の主な意見

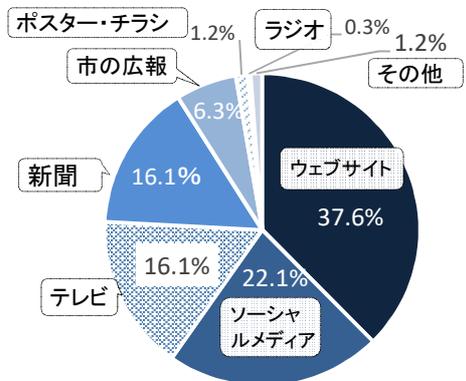
- ・学校教育とメディアミックス
- ・イベントの開催

全体では、「テレビ」の割合が43.0%と最も高く、次いで「ソーシャルメディア」18.0%、「市の広報」16.3%となっている。
 年代別では、20代は「ソーシャルメディア」の割合が高い。70代、80代では「市の広報」や「新聞」が比較的高い割合を占めている。
 男女別でみると、女性は男性に比べ「テレビ」「ソーシャルメディア」の割合が高い。男性は、女性に比べ「市の広報」の割合が高い。

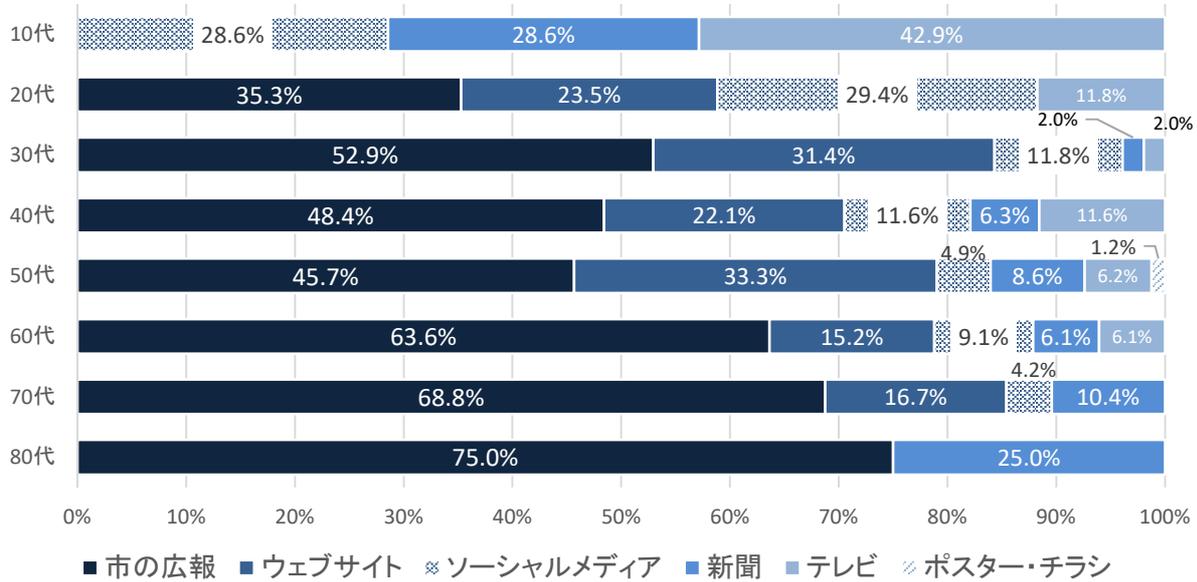
問6 市政に関する情報収集をする方法は、次のどれが一番多いですか？（1つ選択）
 （回答者：344人）



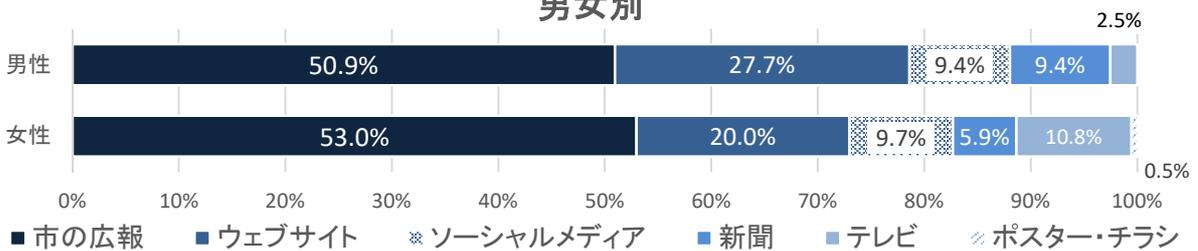
昨年「情報収集をする方法は次のどれが一番多いですか？」の回答結果



年代別



男女別



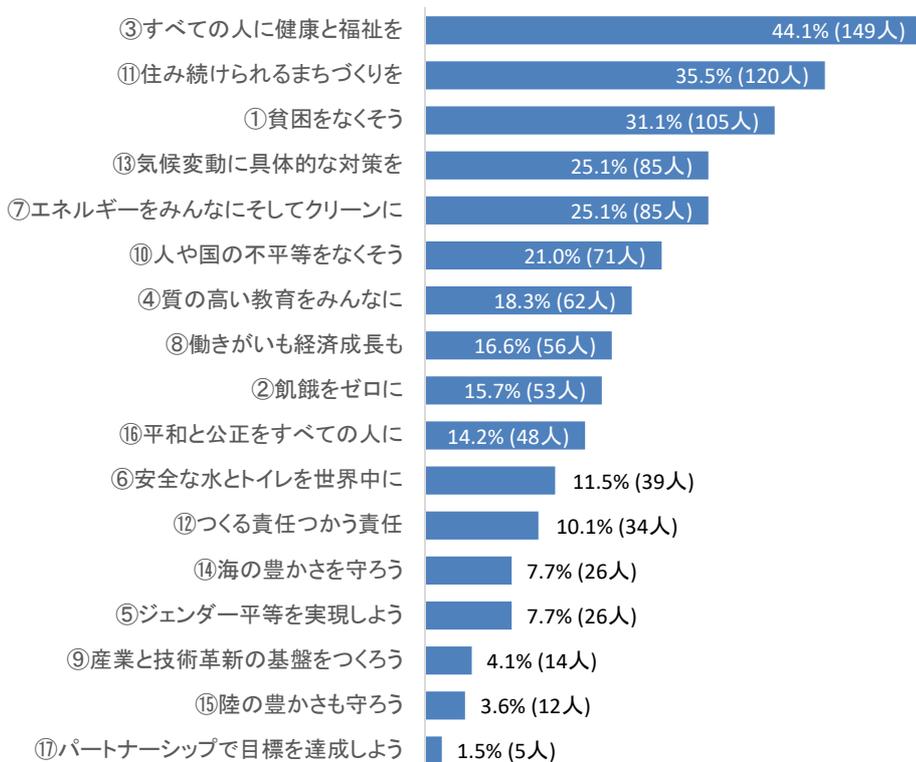
「市政に関する情報収集」として今年の質問では「市の広報」の割合が最も高く、過半数を超えている。一方で、市政の情報に限定しなかった昨年度の質問では「ウェブサイト」の割合が最も高かった。「市政に関する情報収集」の場合は、市の広報誌の役割が非常に大きいことが分かる。

年代別では、10代、20代では他の世代に比べ「ソーシャルメディア」の割合が高く、60代以上では「市の広報」の割合が高い。

男女別では、男性は「ウェブサイト」「新聞」の割合が女性に比べて高く、女性は「テレビ」の割合が男性に比べて高い。

問7 SDGsの17の目標のうち、特に大切だと思う（関心がある）目標は何ですか？
（3つ選択）

（回答者：338人）



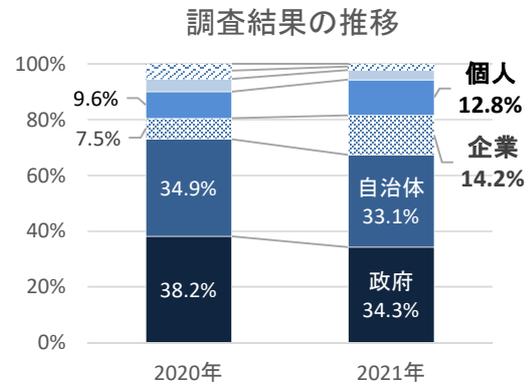
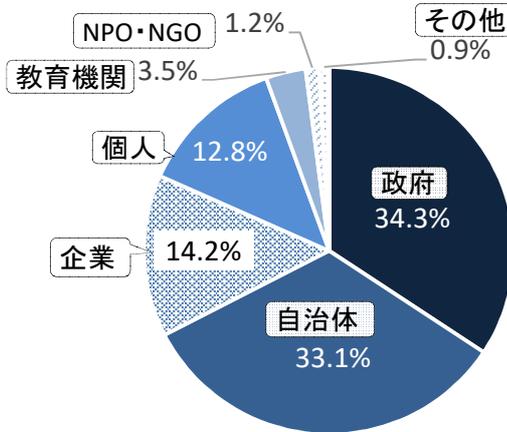
2021年得票数上位トップ5の過去3年の順位

	2019年	2020年	2021年
③すべての人に健康と福祉を	1位	1位	1位
⑪住み続けられるまちづくりを	2位	2位	2位
①貧困をなくそう	4位	4位	3位
⑬気候変動に具体的な対策を	10位	5位	4位
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9位	6位	5位

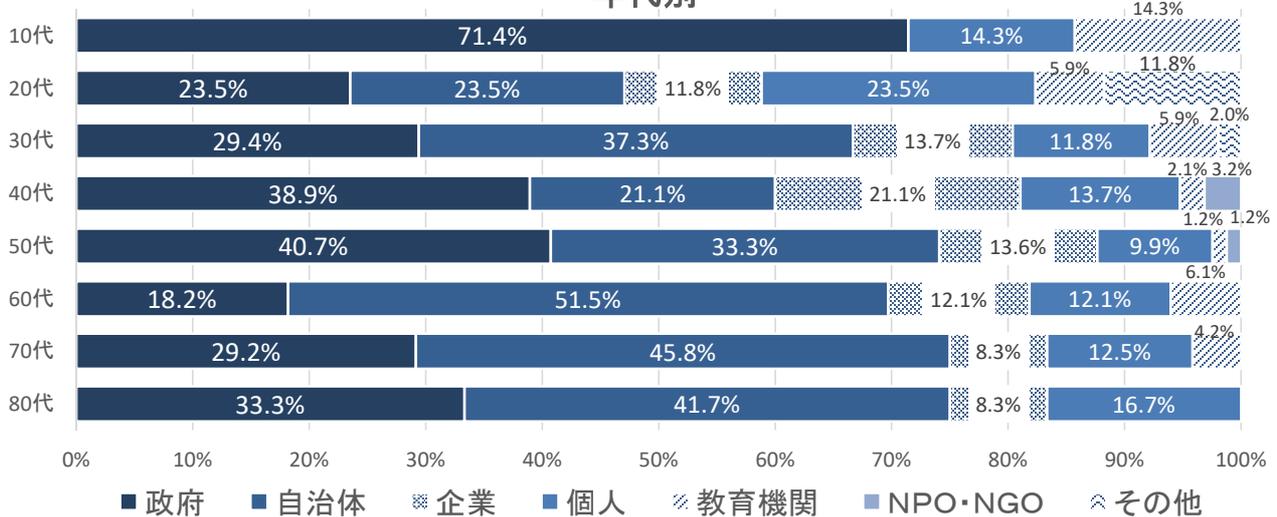
「③すべての人に健康と福祉を」が最多となっている。続いて「⑪住み続けられるまちづくりを」、「①貧困をなくそう」となっている。得票数上位の過去の順位をみると、上位2つは変わらないが、「気候変動に具体的な対策を」「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が大きく順位を上げており、環境問題に関心が高まっていることがわかる。

第2章 SDGsに関する取り組みについて

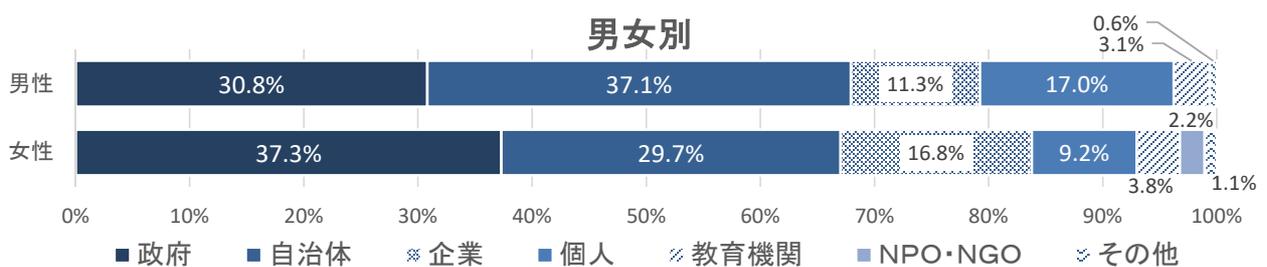
問8 SDGsの達成に向けて、誰が主に行動したほうが良いと思いますか？（1つ選択）
（回答者：344人）



年代別



男女別



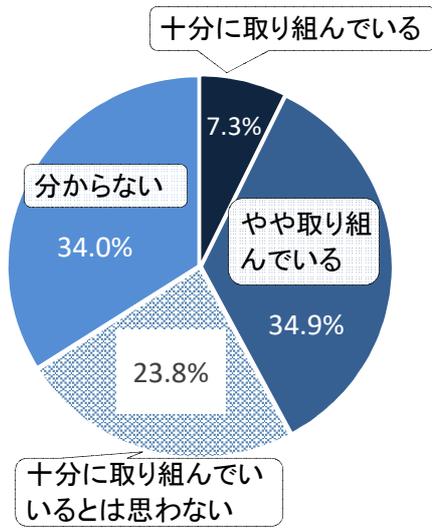
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・すべての人
- ・わからない

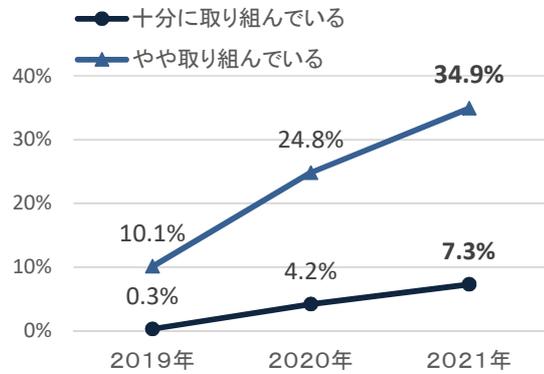
全体では、「政府」と「自治体」の割合がほぼ等しく、合計で約7割を占めている。昨年と比較すると、「政府」「自治体」の割合が減少し、「企業」「個人」の割合が上昇している。年代別では、10代では「政府」の割合が高く、60代以上では「自治体」の割合が高くなっている。男女別では、男性は女性に比べ「個人」の割合が高くなっている。

問9 郡山市のSDGsへの取り組みについてはどう思いますか？（1つ選択）

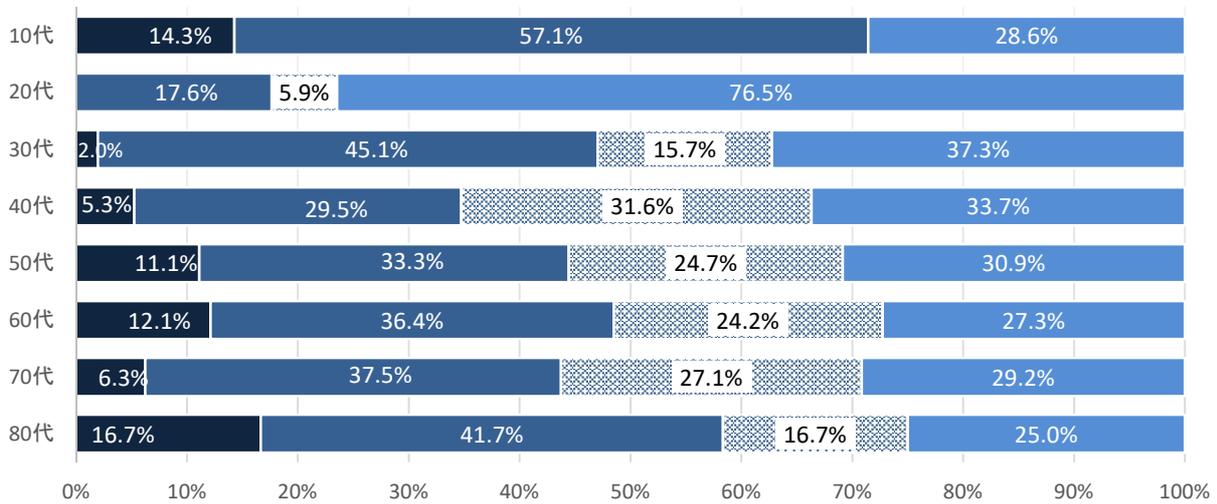
（回答者：344人）



調査結果の推移

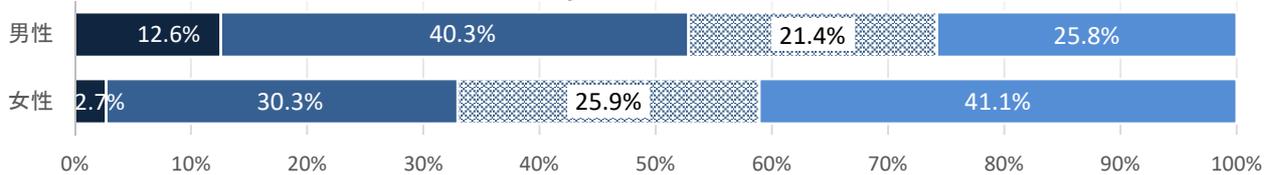


年代別



■ 十分に取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分に取り組んでいるとは思わない ■ 分からない

男女別

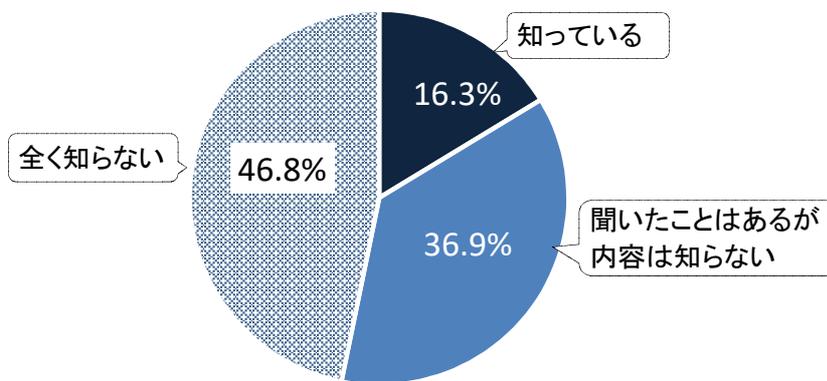


■ 十分に取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分に取り組んでいるとは思わない ■ 分からない

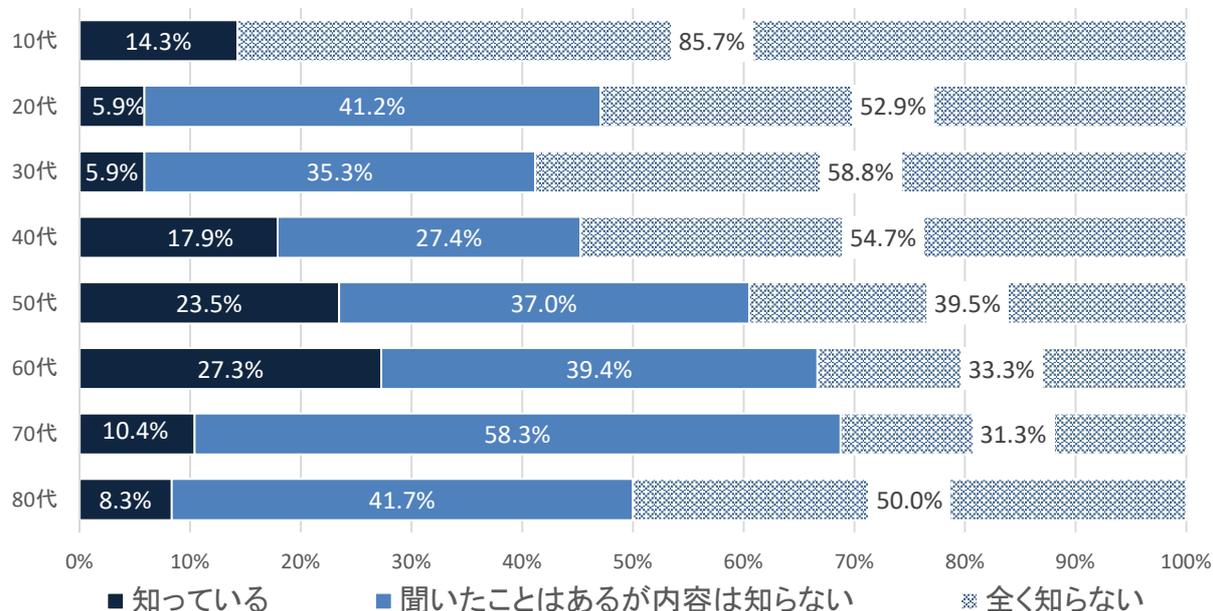
全体では「やや取り組んでいる」が最も高い割合を占めている。前回調査と比べると、「十分に取り組んでいる」は3.1ポイント、「やや取り組んでいる」は10.1ポイント高くなっている。
年代別でみると、20代で「分からない」と回答した割合が高い。
男女別でみると、「分からない」と回答した割合は、男性より女性が高い。

問10 こおりやま広域圏内において、「SDGs体感未来都市」の実現に向け、特に優れた取り組みを進めている市民、団体等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」をご存知ですか？（1つ選択）

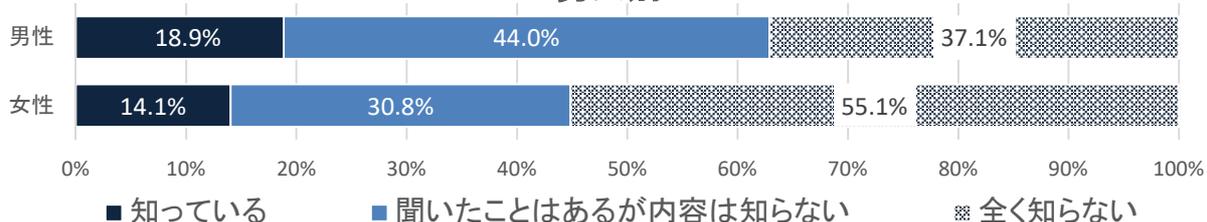
（回答者：344人）



年代別



男女別

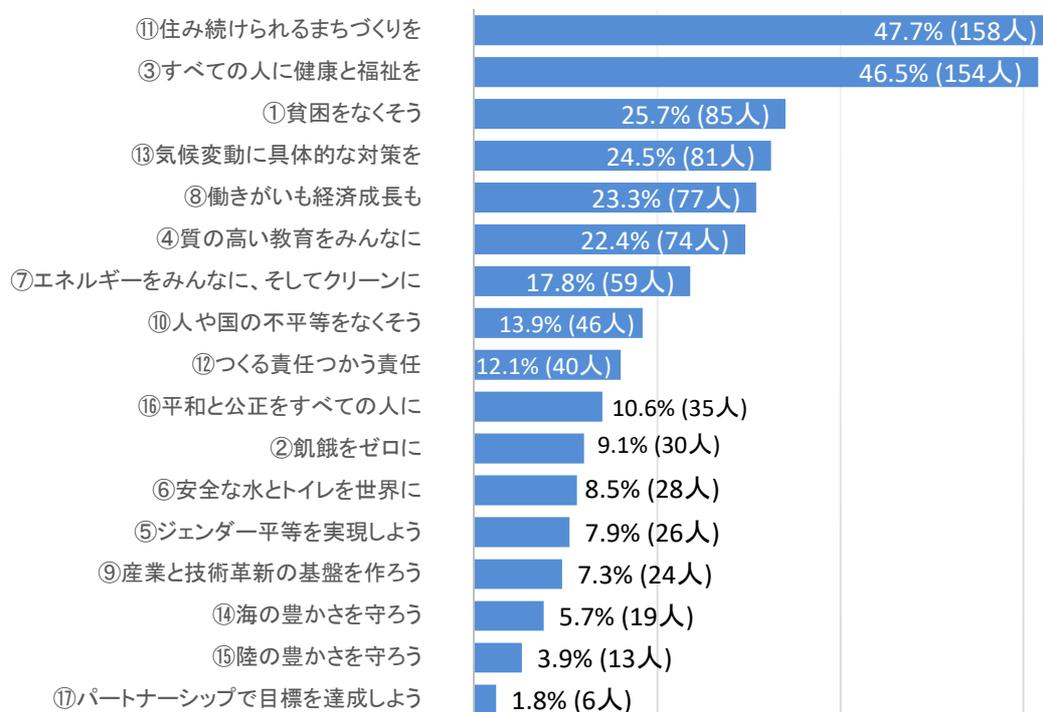


全体では、「知っている」割合は16.3%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が36.9%、「全く知らない」が46.8%となっている。
 年代別では、50代、60代の認知度が高く、20代、30代の認知度が低い。
 男女別では、半数の女性が「全く知らない」と回答している。

問11 SDGsの17の目標のうち、郡山市に特に取り組んで欲しいと思う目標は何ですか？

(3つ選択)

(回答者：331人)



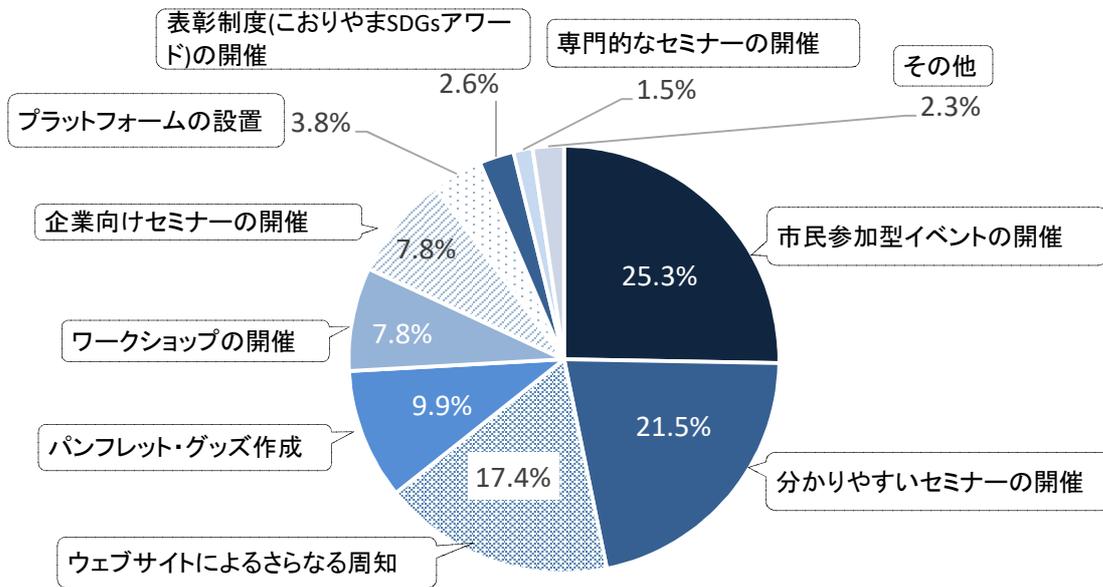
2021年得票数上位トップ5の過去3年の順位

	2019年	2020年	2021年
⑪住み続けられるまちづくりを	1位	2位	1位
③すべての人に健康と福祉を	3位	1位	2位
①貧困をなくそう	5位	4位	3位
⑬気候変動に具体的な対策を	10位	5位	4位
⑧働きがいも経済成長も	4位	6位	5位

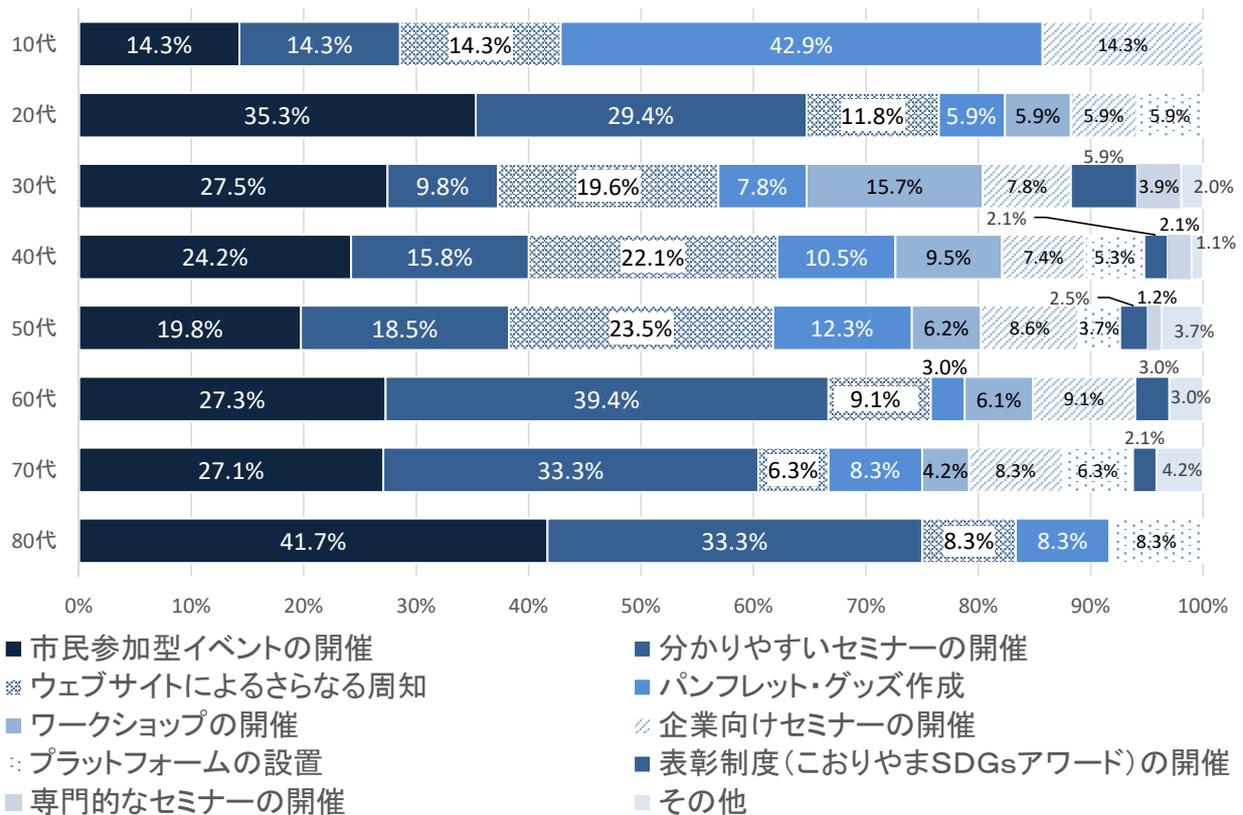
「⑪住み続けられるまちづくりを」が最も多く、次いで「③すべての人に健康と福祉を」となっている。得票数上位の過去の順位をみると、「気候変動に具体的な対策を」が大きく順位を上げており、近年、気候変動に起因した災害が増加傾向にあることから市としての取り組みを期待されていることがわかる。

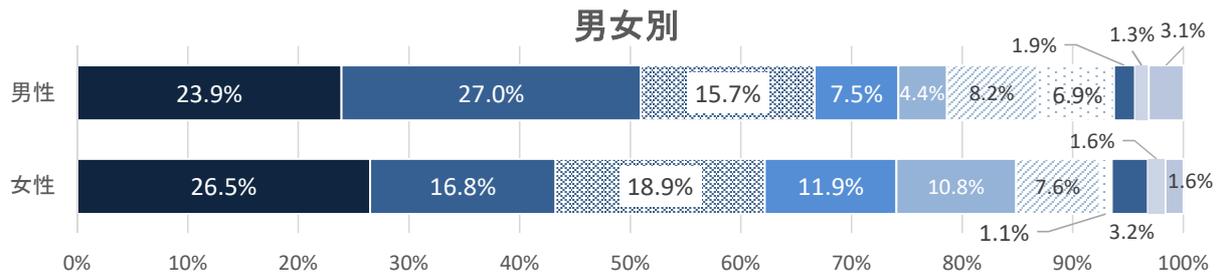
問 12 SDGsの達成に向けて、郡山市に特に取り組んで欲しいことは何ですか？
(1つ選択)

(回答者：344人)



年代別





- 市民参加型イベントの開催
- ※ ウェブサイトによるさらなる周知
- ワークショップの開催
- プラットフォームの設置
- 専門的なセミナーの開催
- 分かりやすいセミナーの開催
- パンフレット・グッズ作成
- ▨ 企業向けセミナーの開催
- 表彰制度(こおりやまSDGsアワード)の開催
- その他

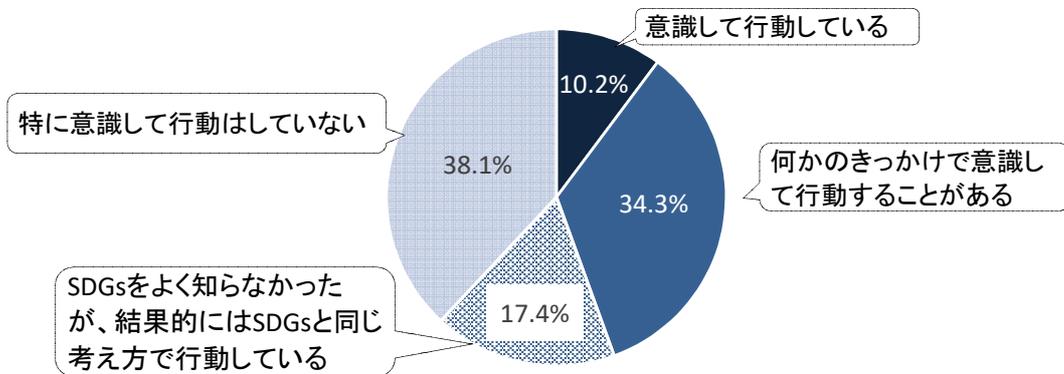
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・「コロナ禍なのでテレビ配信を重点においた周知」
- ・「余計な経費をかけるべきではない」

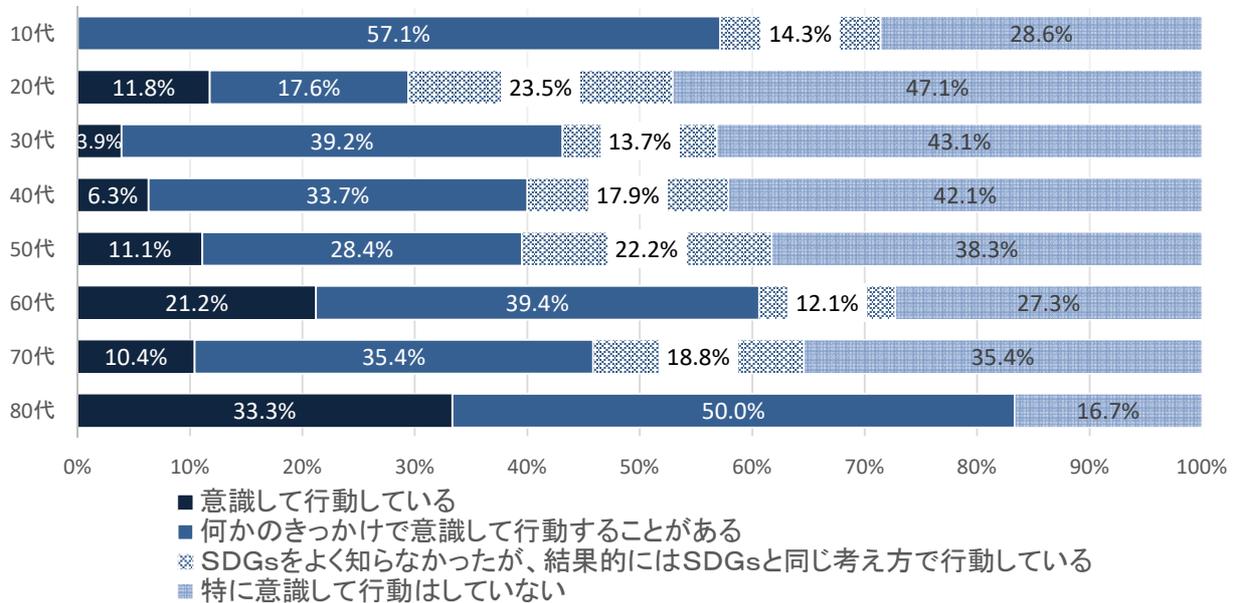
全体では「市民参加型イベントの開催」が25.3%と最多であり、次いで、「分かりやすいセミナーの開催」が21.5%、「ウェブサイトによるさらなる周知」が17.4%となっている。
 年代別で見ると、10代は「パンフレット・グッズ作成」の割合が高く、30代～50代は「ウェブサイトによるさらなる周知」の割合が比較的高い。60代～70代は「分かりやすいセミナーの開催」の割合が高い。

第3章 みんなの取り組みについて

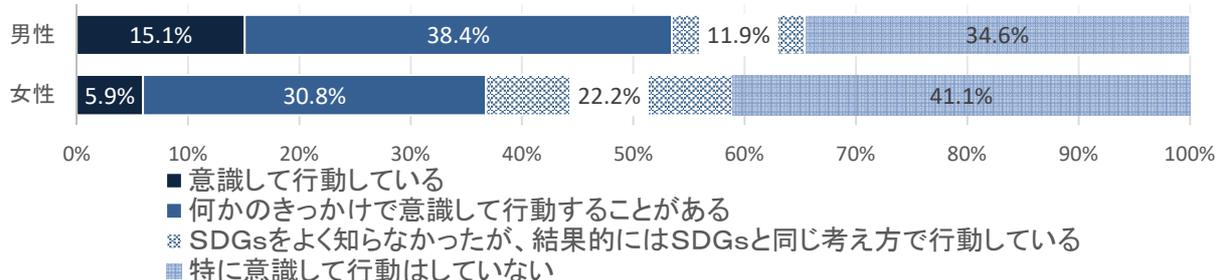
問13 日常生活においてSDGsを意識して行動していますか？（1つ選択）（回答者：344人）



年代別



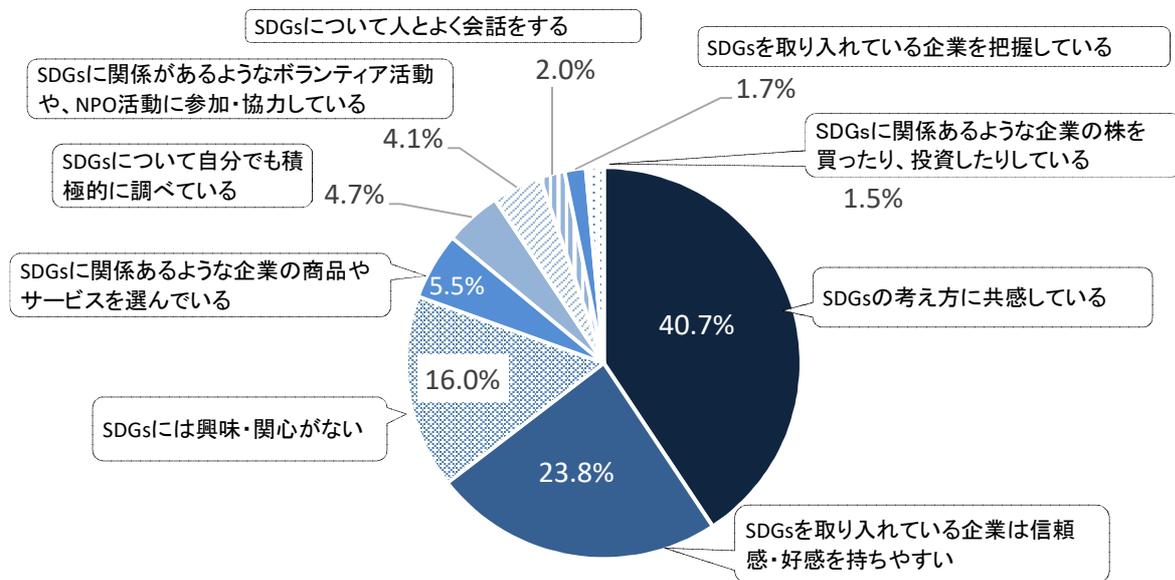
男女別



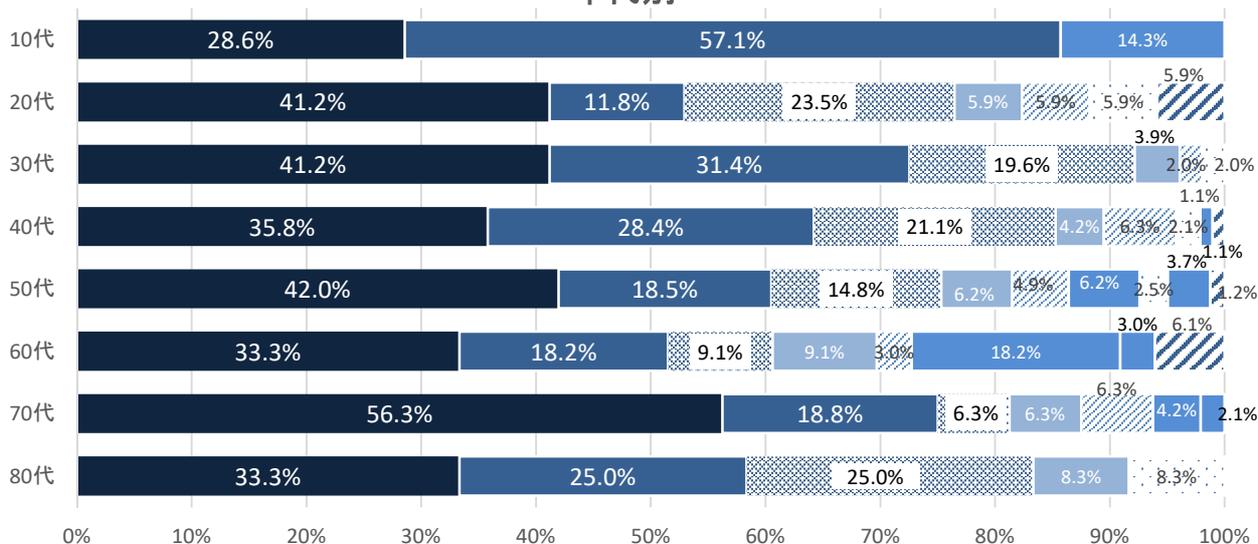
全体では、「特に意識して行動はしていない」が38.1%と最も多く、続いて「何かのきっかけで意識して行動することがある」が34.3%となっている。
 年代別では、20代が「特に意識して行動はしていない」の割合が高い。
 男女別では、女性に比べ男性は「意識して行動している」の割合が高い。

問 14 あなたとSDGsの関わりについて、特にあてはまるものは何ですか？(1つ選択)

(回答者：344人)

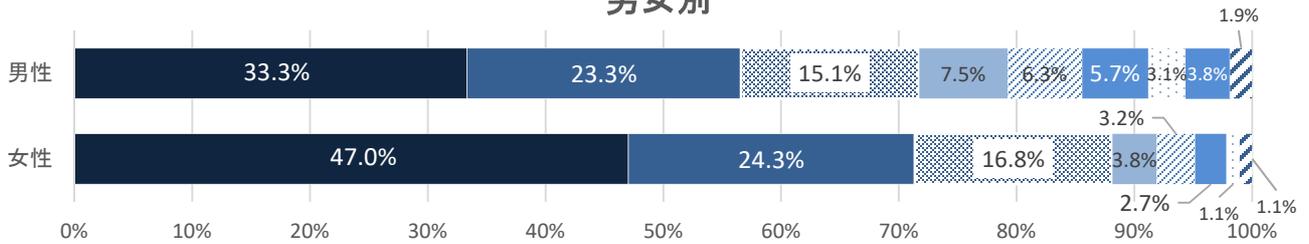


年代別



- SDGsの考え方に共感している
- SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい
- ▨ SDGsには興味・関心がない
- SDGsに関するような企業の商品やサービスを選んでいる
- ▨ SDGsについて自分でも積極的に調べている
- SDGsに関するようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している
- ▨ SDGsについて人によく会話をする
- SDGsを取り入れている企業を把握している
- ▨ SDGsに関するような企業の株を買ったり、投資したりしている

男女別



- SDGsの考え方に共感している
- SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい
- ※ SDGsには興味・関心がない
- SDGsに関係あるような企業の商品やサービスを選んでいる
- /// SDGsについて自分でも積極的に調べている
- SDGsに関係があるようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している
- ⋯ SDGsについて人とよく会話をする
- SDGsを取り入れている企業を把握している
- /// SDGsに関係あるような企業の株を買ったり、投資したりしている

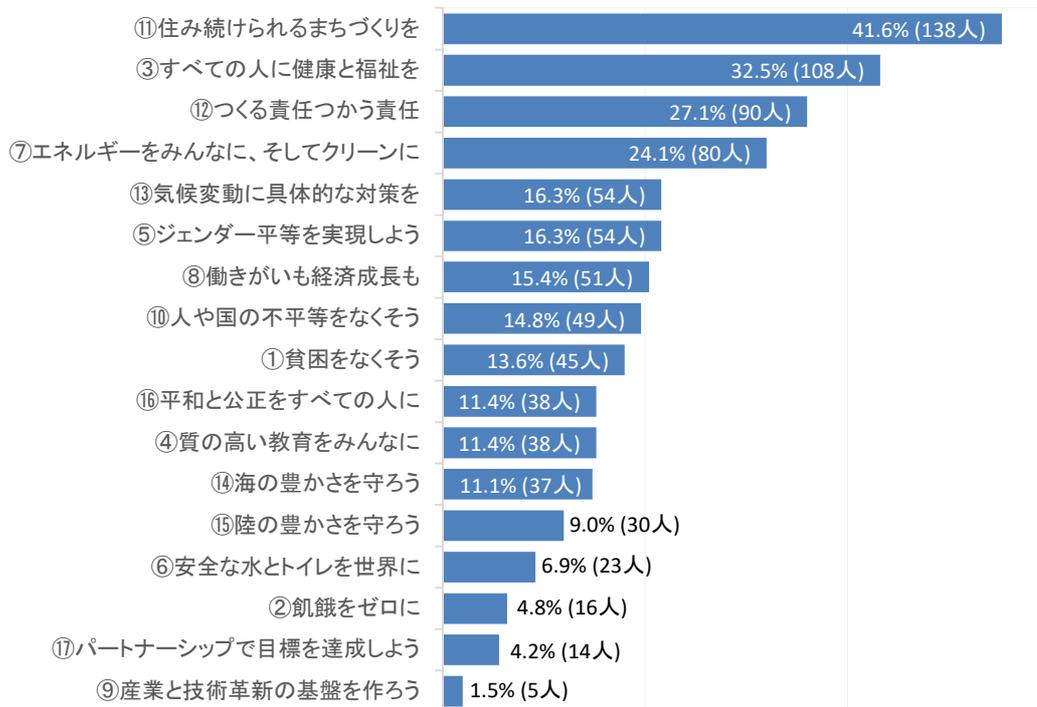
「SDGsの考え方に共感している」が40.7%と最も多く、「SDGsを取り入れている企業は信頼感・好感を持ちやすい」が23.8%と2番目に多くなっている。

年代別では、10代は「SDGsを取り入れている企業は信頼感・好感を持ちやすい」が半数以上を占めている。

男女別では、女性は男性に比べ「SDGsの考え方に共感している」割合が多いものの、「SDGsには興味・関心がない」割合も多くなっている。

問 15 SDGsの17の目標のうち、「自分ごと」として取り組んでみたいと思う目標は何ですか？（3つ選択）

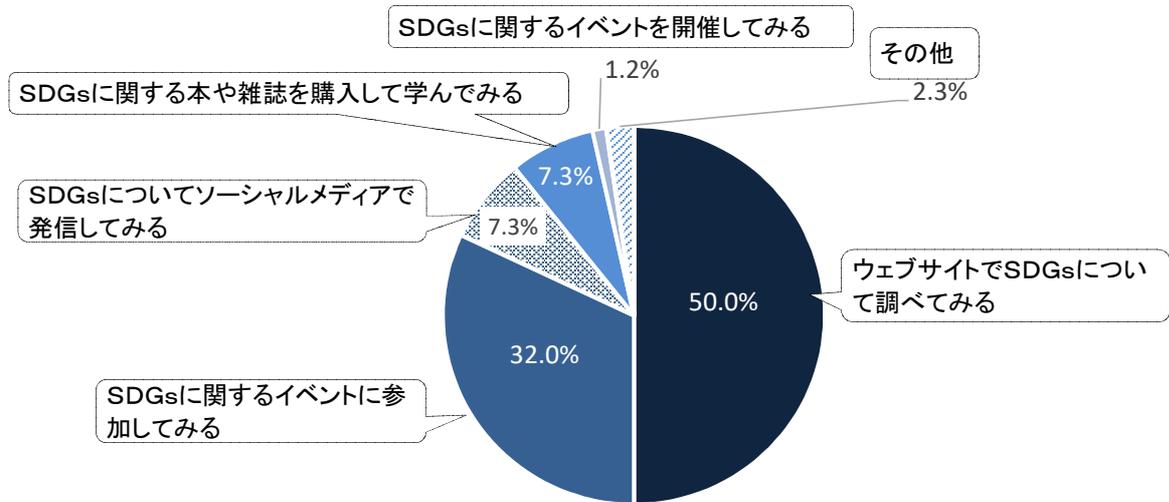
（回答者：332人）



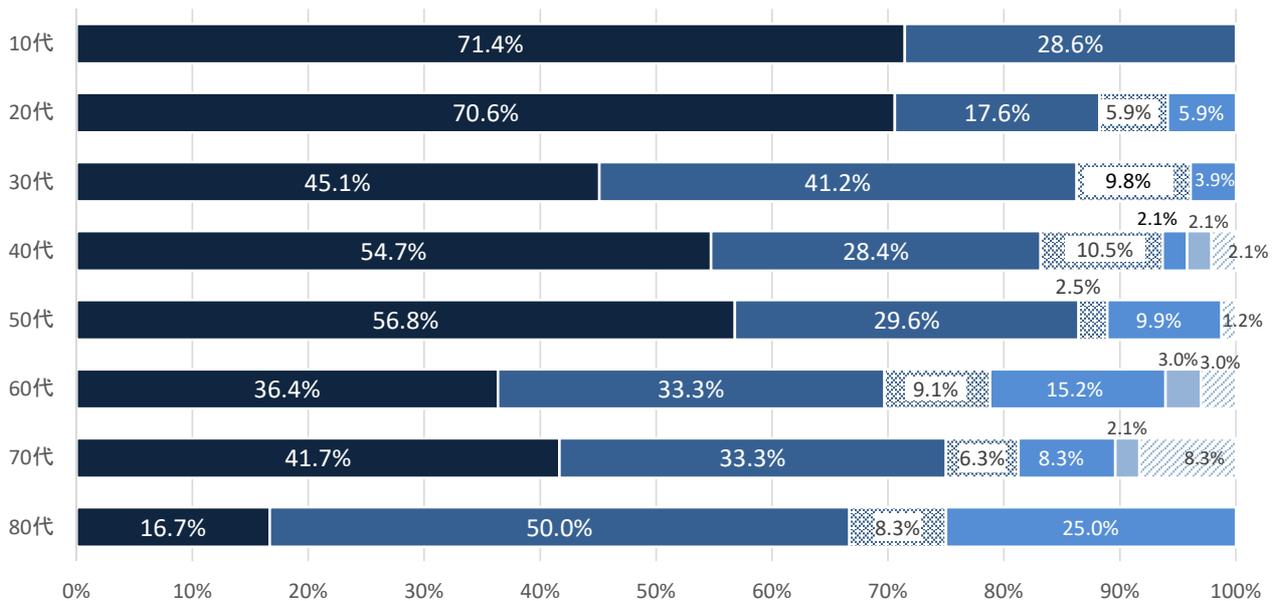
「自分ごと」として取り組んでみたいと思う目標は、問11「SDGsの17の目標のうち、郡山市に特に取り組んで欲しいと思う目標は何ですか？」の回答結果と同様に「⑪住み続けられるまちづくりを」が最も多く、「③すべての人に健康と福祉を」が2番目に多い結果となっている。また、「自分ごと」として捉えた結果、「⑫つくる責任つかう責任」が上位にきている。

問16 SDGsの達成に向けて取り組んでみたい事は何ですか？（1つ選択）

（回答者：344人）

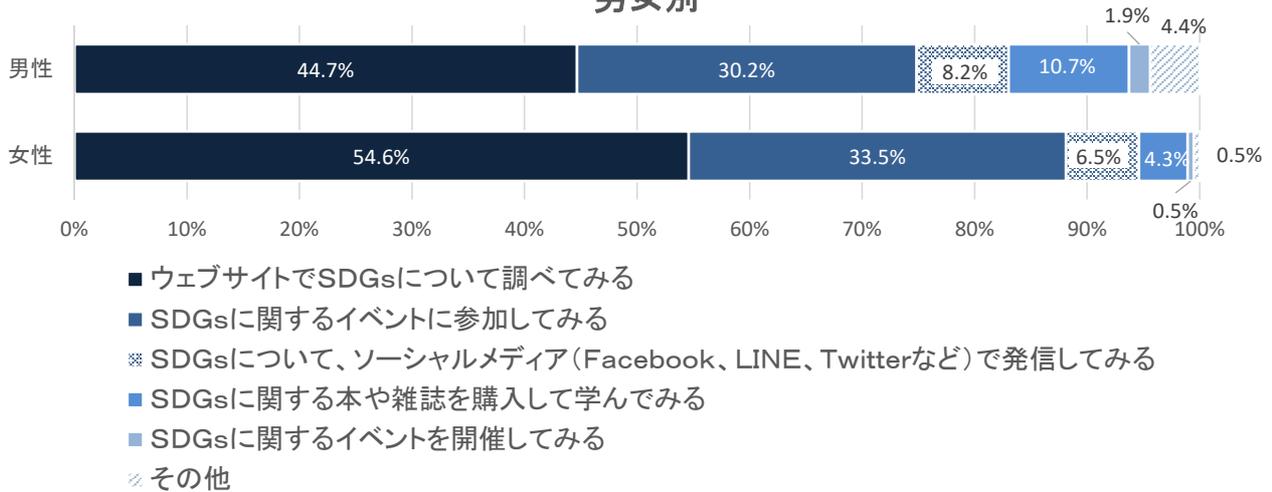


年代別



- ウェブサイトでSDGsについて調べてみる
- SDGsに関するイベントに参加してみる
- ※ SDGsについて、ソーシャルメディア（Facebook、LINE、Twitterなど）で発信してみる
- SDGsに関する本や雑誌を購入して学んでみる
- SDGsに関するイベントを開催してみる
- ◇ その他

男女別



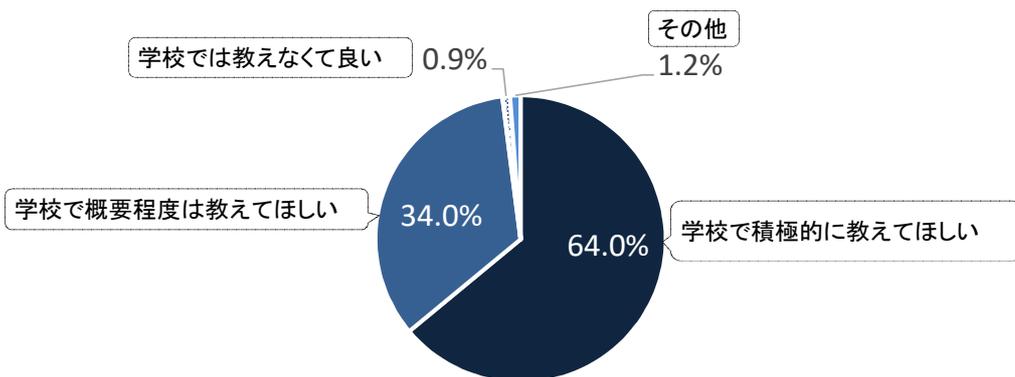
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・身の回りの小さなこと、自分ができるところを確実に実行したい
- ・特になし

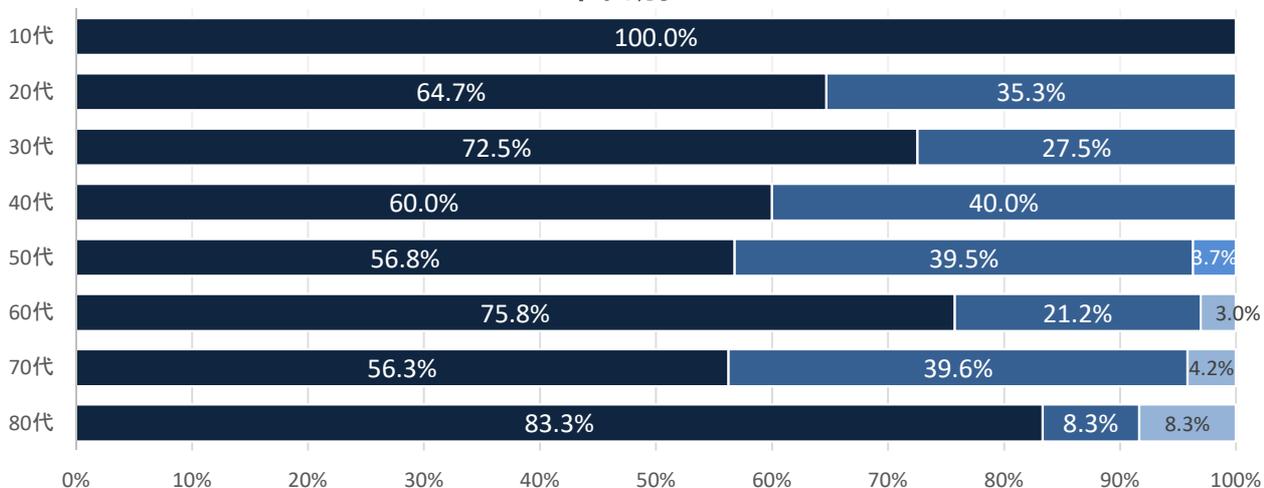
全体として、半数が「ウェブサイト上でSDGsについて調べてみる」と回答している。
 年代別で見ると、10代、20代は「ウェブサイト上でSDGsについて調べてみる」が他の世代に比べて高く、50代から80代は「SDGsに関する本や雑誌を購入して学んでみる」が他の世代に比べて高くなっている。

問 17 SDGs についての学校での取り組みについて（1つ選択）

（回答者：344人）



年代別



■ 学校で積極的に教えて欲しい ■ 学校で概要程度は教えて欲しい ■ 学校では教えなくて良い ■ その他

男女別



■ 学校で積極的に教えて欲しい ■ 学校で概要程度は教えて欲しい ■ 学校では教えなくて良い ■ その他

※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・単なる知識の伝達ではなく実践的に取り組むのであれば大いに採用してもらいたい
- ・学校で学ぶ目的は何かを明らかにし教えること

「学校で積極的に教えて欲しい」「学校で概要程度は教えてほしい」の2つで98%を占めている。年代別や男女別で大きな違いはみられないが、実際に就学している人が多い10代全員が「学校で積極的に教えて欲しい」と回答している。

その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

(回答者：70人)

SDGsの認識について

- ・毎回広報に載っているがそれでもよく理解しない人が多いので根気よく普及して欲しい。(70代・男性)
- ・SDGsに取り組んでいる企業に勤めているから知っているが、世間一般的に周知されているのか疑問です。(40代・女性)

SDGsのためにやれること、必要なこと

- ・子どもが学校で学び、自宅で教えてくれました。そして、子どもと共に少しですが気を付けるようになりました。微々たる一歩ですが、まずは日本一(?)燃えるゴミの多い郡山市とのことだったので(子どもより)、ゴミを減らす意識を持って生活することから始めています。(40代・女性)
- ・SDGsについて、詳しく知らないなので、まずは知ることから始めたいと思いました。自分の子ども達にも説明できるようになりたいです。(40代・女性)
- ・実現するのかなと疑問にも思える壮大な理想のようにみえるのですが、国連が掲げたのであれば覚悟をもって取り組むべきだと思います。案ずるより実行あるのみ。(50代・女性)
- ・一人ひとりが問題意識を持ち、地球を救うため行動しなければなりません。ゴミを減らす、食品ロスを減らす、こまめに電気を消すなど私たちが身近にできる取組みが必要になります。(20代・男性)

SDGsの周知方法について

- ・小学生など小さな子どもでも始められる取り組み方を紹介したり、簡単なことからできるんだよという実例など周知していくと、意識が変わってたくさんの人を巻き込めると思います。(50代・女性)
- ・概念の素晴らしさはわかりますが、スケールが大きすぎて、身近に感じる事ができていませんので、例えば個人個人がどうすればいいか、どういうことに気をつければよいかといったことも提示して欲しいと考えます。(40代・女性)
- ・最近よく聞きますが、あまり身近に感じられません。小さい子からお年寄りまでわかるような、わかりやすい言葉や活動内容だといと思います。(30代・女性)

その他

- ・子どもたちの教育の場面に取込んでいければSDGsの考え方が、将来的に根づいていくものと思います。(40代・男性)
- ・郡山市のランドデザインを市民に分かり易く示してほしい。その中からSDGsとの関わりを考えてみたい。国の政策との絡みもあって難しい問題も多い(電気ステーション、水素ステーションの設置拡充など)と思うが、公共施設での雨水の積極的利用、駅前の喫煙禁止ゾーン拡大、歩行喫煙禁止条例、など市の裁量で出来る事はSDGsの精神を基に積極的に実施して欲しい。(70代・男性)
- ・徐々にこういった取組みが評価されておりますが、本当に企業で取り組んでいるのか目視できない状況なので、見て分かるような統計や企業自体にわかるマークなどあるといと思います。(30代・女性)